

永平寺町過疎地域持続的発展計画（案）
提出された意見の概要と町の考え方

（意見募集期間：令和8年2月9日～2月24日）

NO.	意見の概要	町の考え方
1	現行計画でも集落の担い手不足を問題としていたが、改善が見られない。交流支援や協働体制づくりだけでは担い手は増えず、少数の現役世代に負担が集中して地域活動が消滅しかねない。令和8年以降は、担い手確保・負担軽減・外部人材活用など実効性ある対策へ抜本的に見直すべき。	担い手不足や役割の集中は重要な課題と認識しています。本計画では、集落の維持に向け、地域づくり支援や人材確保に関する取組を位置付けています。いただいたご意見は、事業の実施・運用における負担軽減や外部人材の活用等の検討に生かします。なお、本計画案は、方向性として既にこれらの取組を含んでいることから、今回の変更は行いません。
2	上志比地区の人口減少で活気が薄れ、生活基盤（道路・上下水道・学校・農業用水等）の要望が多い。老朽化も懸念されるため、計画に基づき整備を進めてほしい。	人口減少下でも生活基盤の維持は重要です。道路や上下水道等について、関係部局と連携し、点検・改修・更新を計画的に進めます。地域の実情や要望を踏まえ、上志比地区の振興に取り組みます。
3	禅文化や自動運転等の価値が十分伝わっていない。政策理解や観光・移住等のため、SNS・動画等で分かりやすい情報発信を強化すべき。具体プランの提案がある。	情報発信の強化は重要な課題と認識しています。本計画は施策・事業を整理する計画であり、広報手法等を個別具体的に定めるものではありません。いただいたご意見は、計画案のとりまとめ及び計画の推進に当たっての参考とします。
4	移住促進のため宅地造成・企業誘致等の整備や、買い物環境の充実が必要。古民家・集落景観の保全と観光活用、案内表示の充実、交通の強みを生かした振興を求める。文化発信や教育の説明、地域負担（自治会費等）軽減も求める。	移住・産業・生活利便性、文化・教育、地域負担に関するご指摘は重要です。本計画は制度活用も含め施策を整理する計画であり、個別大型事業の実施可否を本計画のみで決定するものではありません。ご意見は、計画の推進に当たっての参考とします。